

研究計画書

【寺院で実施される「まちの保健室」に高齢者が継続して参加する意味に関する質的研究】

1. はじめに

本研究は、大阪大学医学部附属病院の倫理審査委員会で倫理的観点からその妥当性についての審査を受け、研究機関の長から許可を得ています。

2. 研究の目的及び意義

本研究は、寺院で実施されるまちの保健室に継続して参加することが、高齢者にとってどのような意味をもつのかを明らかにすることを目的としています。

本研究により、寺院で実施されるまちの保健室に継続して参加する意味を参加者の視点から明らかにすることで、寺院でまちの保健室を実施する動機づけになるほか、まちの保健室の実践改善に役立つことが期待されます。

3. 研究の方法

寺院で実施されるまちの保健室に継続して参加することが、高齢者にとってどのような意味をもつのかを明らかにするため、寺院でのまちの保健室に参加されている高齢者の方にインタビュー調査を実施させていただきたいと考えております。インタビューでは、他者との相互作用や、寺院という場が与える影響などについてお伺いする予定です。

1) 研究対象者の選定基準

以下の条件を満たす方とします。

- ・大阪府内7カ所の寺院で実施されるまちの保健室に参加している65歳以上の高齢者。
- ・研究内容について理解し、研究協力に同意した者。

2) 研究対象者選定後の研究の流れ

- ①まちの保健室の開始前、もしくは終了後のどちらかの時間に研究対象候補者様へご挨拶させていただき、研究の詳細を説明いたします。研究協力に同意いただける場合には、同意書へのご署名をお願いします。
- ②インタビューの実施日時と場所を決めさせていただきます。
- ③研究分担者が実施場所に出向き、対面にてインタビューを実施いたします。
- ④インタビューの結果を分析し、研究としてまとめて発表いたします。

3) インタビューの方法

＜インタビュー実施前＞

- ・インタビューの実施日時、場所を対象者様の希望に沿い、決定いたします。
- ・場所は、寺院内あるいは参加者が希望する静かな場所とします。

＜インタビューの実施＞

- ・インタビューは1回当たり約1時間を想定しております。
- ・必要に応じてインタビューを複数回実施する場合があります。
- ・寺院で実施されるまちの保健室に継続して参加する意味についてインタビューをさせていただきます。インタビューは研究対象者様の負担にならない範囲で自由に語っていただきます。
- ・答えたくないこと、答えられないことについては話さなくて構いません。

- ・インタビュー中に個人を特定する情報を話した場合は、逐語録を作成する際に削除し、「Aさん」など個人が特定されない形に書き換えを行います。

4)インタビューの記録

- ・インタビューの内容は許可を得て、IC レコーダーに録音いたします。録音の許可が得られない場合は、了承を得て面接内容の記録をとらせていただきます。
- ・インタビューのデータは研究実施期間である 2030 年 3 月 31 日までに破棄します。
- ・インタビューデータや個人情報や大学の研究室内の鍵のかかる場所に保管します。情報を照らし合わせにくくするため、個人情報とそれ以外の書類・電子媒体は離れた別の研究室内で厳重に管理します。

5)再インタビュー

- ・概念の本質を抽出するために再度インタビューをさせていただくことがあります。
- ・再度インタビューをさせていただく場合、実施日時、場所を対象者様の希望に沿い、決定します。
- ・再インタビューを辞退されても不利益を被ることは一切ございません。

4. 研究予定期間

本研究の研究期間は実施許可後から 2030 年 3 月 31 日までを予定しています。

5. 研究参加により予定される利益と不利益

本研究に研究対象者として参加されることに同意いただいた場合、直接的に研究対象者が研究に参加することによって得る利益・不利益はありません。間接的には本研究の結果により、寺院でまちの保健室を実施する動機づけとなるほか、まちの保健室の実践改善に役立つことが期待されます。

6. 参加について(研究協力の自由意思と同意撤回)

本研究の参加は任意であり、辞退されたとしても研究対象者様が不利益を被ることは一切ございません。

もし、研究に参加している途中でそれ以上の研究への協力を望まない場合は、インタビューから 1 か月以内であれば同意の撤回が可能となります。インタビューから 1 か月で逐語録を作成し、分析に入りますため、インタビューから 1 か月以内とさせていただきます。同意を撤回しても、今後一切不利益を受けることはございません。同意の撤回を希望される場合は、遠慮なく研究分担者にお伝えください。その際、それまでに収集した個人情報とデータの破棄を要求することが可能となります。

7. 研究に関する情報開示の方法

本研究で得られた結果は学会等で発表される可能性があります。その際、個人情報は特定されないように匿名化いたします。

8. 研究計画書の開示

研究対象者様ならびに寺院代表者様は、個人が特定されない範囲および本研究の独創性が確保される範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手または閲覧ができます。研究室ホームページにて研究計画書を公開していますので、いつでもご覧いただけます。

9. 個人情報の取り扱い

- ・インタビューの実施にあたって、研究対象者様のプライバシーが保たれるよう十分に配慮いたします。
- ・基本的に参加者の個人情報は取得しません。しかし参加者からの連絡により、参加者の連絡先を知り得た場合には、やりとり終了後、速やかに削除します。
- ・研究対象者から収集するインタビューデータは、氏名等の特定の個人を識別することができることとなる記述等を削り、「Aさん」など、個人が特定されない形に書き換えを行います。そのため個人情報が公開されることはありません。
- ・研究で得られた録音データは逐語録作成まで鍵をかけて厳重に保管し、研究分担者・研究責任者以外は閲覧しないことを厳守いたします。また、逐語録の作成及びデータの分析は不正ソフトウェア対策がなされ、ネットワークに接続されていないPCを使用して行います。
- ・研究で得られた情報を、研究以外の目的で用いることは一切ございません。

10. 情報の保管及び破棄の方法

- ・研究で得られた情報は大阪大学の当研究室に設置した鍵のかかる棚にて厳重に保管いたします。また、録音データは逐語録作成後すみやかに消去いたします。
- ・本研究において収集し用いたデータは、研究終了報告日から5年または研究結果の最終公表日から3年または論文等の発表から10年のいずれか遅い日まで保管し、期限が来れば適切な方法で破棄いたします。

11. 研究の資金源及び研究に係る利益相反

本研究は研究室の運営交付金を資金源として実施いたします。このほかに、特定の団体からの資金提供や無償提供は受けておりませんので、研究組織全体に関して起こりうる利益相反はございません。

12. 研究により得られた結果等の取り扱い

本人の希望に応じて、口頭や文書にて説明いたします。

13. 費用と謝礼について

本研究において、みなさまが費用を負担されることはございません。また、本研究において行われるインタビューへの参加に対する研究対象者への謝礼はございません。

14. 健康被害が生じた場合の補償について

本研究は侵襲を伴わない非介入研究のため、健康被害が生じることはないと考えております。

15. 研究組織・お問い合わせ先

本研究が、大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 地域ヘルスケアシステム科学研究室が主体となり実施いたします。本研究について、研究データの開示や研究同意の撤回、その他のお問い合わせは下記までご連絡ください。

研究分担者：前川 千紗

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 地域ヘルスケアシステム科学研究室

電話番号：090-4251-5163

メール：u552851h@ecs.osaka-u.ac.jp

研究責任者：小西 かおる(職位・教授) 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 地域ヘルスケアシステム科学研究室

連絡先：大阪府吹田市山田丘 1-7

電話番号/FAX：06-6879-2558(直通)

メール：kkonishi@sahs.med.osaka-u.ac.jp

また大阪大学医学部附属病院では、臨床研究に関する相談窓口を設置しています。
臨床研究に関すること、あなたの権利に関すること、研究者以外と話がしたい場合、その他苦情、相談がある場合は、以下の窓口もご利用ください。

臨床研究相談窓口：平日 8:30～17:00（土日祝、年末年始を除く）

連絡先電話番号：06-6879-6106